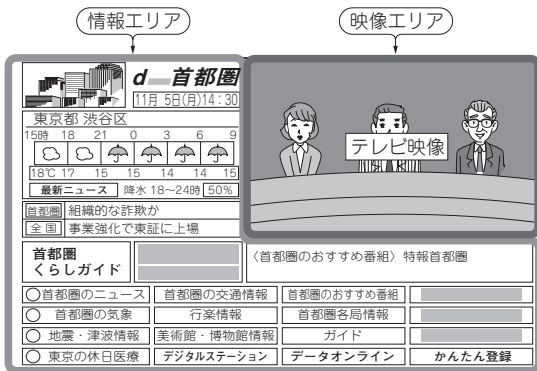




はじめての地デジ・データ放送

濱田 淳

第1回 データ放送表示の基本メカニズム



(a) 映像を表示する映像エリアと文字や画像で情報を表示する情報エリアの二つに分けられる

領域名	内容
映像エリア	選局されているテレビ放送の映像を表示する。これより、テレビ映像を見ながらデータ放送の情報を閲覧することが可能。
情報エリア	各種情報を表示する。地域の天気情報、最新ニュース、番組の宣伝や番組に関わる情報(番組の詳細情報、ドラマの前回までのあらすじや出演者リスト、投票画面など)

(b) 二つのエリアに表示される内容

図1 データ放送は放送中のテレビ映像を映したまま表示できる

テレビ放送の方式がアナログからデジタルに切り替わり、データ放送がテレビの機能として定着してきました(図1, 表1)。データ放送の実現により、

表1 データ放送ではさまざまな種類の情報が放送できる

情報の種類	内容
時刻情報	今日の日付と現在時刻
ニュース	全国/地域のニュース
天気予報	全国/地域の天気予報
交通情報	地域の幹線道路や高速道路の混雑情報
災害情報	災害情報や発令されている警報情報など
地域情報	地域のイベントや公共施設情報、各種お知らせなど
番組情報	現在のテレビ番組に関する情報(ドラマのあらすじや登場人物紹介など)
スポーツ	オリンピックやワールドカップなどのスポーツ・イベント開催状況

リモコンのdボタンを押すことによって天気予報やニュースなどさまざまな情報がテレビ画面の上に表示されるようになりました。

実は、それらを表示させるしくみは、インターネットのホームページなどの記述に利用されているHTMLと同じような、XMLベースのBML (Broadcast Markup Language) を用いて実現しています。

本連載では、データ放送を実現しているしくみ(図2)を、テレビ内のハードウェア構成や実際のBMLの記述を通して解説します。(編集部)

データ放送とは

テレビ放送の方式がアナログからデジタルに切り

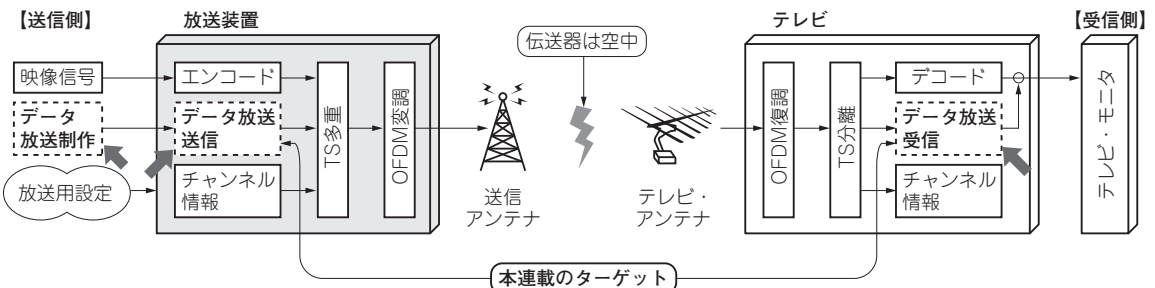


図2 本連載で説明すること…地デジ化にともない本格的にサービスが開始! 今やあたりまえとなったデータ放送のしくみを解説する地上デジタル放送の信号処理